

「教育実習」科目等履修生受け入れについて

【2026年度教育実習履修希望者】

本学で「教育実習」を科目等履修生として受講する場合、受入先の内諾を前年度に得る必要があります。実習予定校の内諾を受けるには、次の1～4の要件をすべて満し、科目等履修生の申込みが必要です。

1. 本学が実施する適性試験に合格すること。 ※大学のみ

※適性試験の内容等についてはP2～3を参照のこと。

(注1) 次の①もしくは②に該当する場合、適性試験の「学習指導案作成（教材研究含む）」「模擬授業」を免除します。

- ①前年度に本学で「音楽科指導法Ⅰ」（大学）の単位を修得し、「教育実習」を初めて受講する場合。
- ②当年度に本学で「音楽科指導法Ⅱ」（大学）を受講する場合。

2. 本学の「教職弾き歌い（補習）」を受講すること。 ※短大のみ

3. 本学で定める次のa～cの教育実習の許可条件科目を修得していること。（注2）

【大学】

- a. 「教職入門」 2単位
- b. 「教育学概論A」「教育学概論B」「教育心理学」 4単位以上
- c. 「音楽科指導法Ⅰ」及び「音楽科指導法Ⅱ」 4単位

【短大】

- a. 「教職入門」 2単位
- b. 「教育学概論」「教育心理学」 2単位以上
- c. 「音楽科指導法Ⅰ」 2単位

(注2) 「音楽科指導法Ⅱ」（大学）、「音楽科指導法Ⅰ」（短大）を本学で受講する場合は、同年度の内諾依頼を許可する。

4. 教育実習の履修前（同年3・4月）に「教育実習の指導」（事前・事後指導を含む）を本学で受講すること。

●教育実習適性試験について 【大学のみ】

本学の科目等履修生として「教育実習」を履修するには、まず、本学が実施する適性試験に合格した上で、履修の前年度に実習先の学校において、受入れの内諾を得ておく必要があります。したがって、再来年度に「教育実習」の履修を希望される場合、下記の日時に実施する適性試験に合格の後、速やかに実習校に受入れの依頼をしてください。

記

対象者：本学出身者で、2026年度に本学で教育実習の履修を希望する者

申込期間：2025年3月3日（月）～3月7日（金）15：00まで（申込必要書類はP.4参照）

日時：2025年3月29日（土）11：15～15：00頃
（試験に要する時間は1時間程度。開始終了時刻は受験者数により変わります。）

会場：大阪音楽大学 B号館205室 他（詳細は当日確認してください。）

試験内容：次の①～⑤に全て合格すること（一部免除有）。各試験の詳細についてはP.3参照。

- ①学習指導案作成（教材研究含む） 《事前提出》
- ②模擬授業
- ③ピアノ弾き歌い
- ④課題レポート 《事前提出》
- ⑤面接

提出物：次のA～Dを提出すること。期日までに提出が無かった場合は、受験できません。

- A. 成績証明書 ※科目等履修生出願者は不要
- B. 学力に関する証明書
A. B. は卒業大学及び、科目等履修をした大学が発行した証明書。
※教職免許状取得に関わる科目を取得した全ての証明書を用意すること。
(2024年度履修中科目で証明書発行が出来ない場合は、「取得見込み」もしくは「履修中」であることが証明できるものを添付すること。)
- C. 学習指導案 及び 教材研究（必要に応じてワークシート）※①②の受験が必要な方のみ
- D. 課題レポート ※添付の様式を使用

提出締切：2025年3月21日（金）15:00まで

提出場所：学生支援センター

※提出物の提出は郵送でも受け付けをしますが、締切日時までに必着のこと。

〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8

大阪音楽大学 学務事務部門 教務担当 宛

封筒表面に「科目等履修生 適性試験課題在中」と記載のこと。

【 試 験 内 容 】

①「学習指導案」及び「教材研究」（提出物 C）

《課題と作成》

学習指導案— 4 枚程度 / 教材研究— 2 枚以上 / ICT(パワーポイント)の作成 / ワークシート— 適宜

※用紙はA4に準拠する（A3は1枚で2枚と換算する）。A3なら折りたたんでA4に揃えること。

- ・「世界の諸民族の音楽」(中学音楽の教科書)を教材として、「全2時間」の鑑賞の学習指導案を作成する。
- ・作成する学習指導案の様式は、大学の授業で指導を受けた指導案の様式を使用すること。
 - ① 指導案タイトルには、指導を受けた大学名と授業科目名を次のように併記する。
「中学校音楽科学習指導案（〇〇〇大学△△△△△の授業の様式に準拠）」
 - ② 「評価規準」は平成20年または平成29年の『中学校学習指導要領（音楽）』による4観点、3観点のどちらでもよい。
- ・授業の「本時」の項目は50分授業とし、導入、展開、まとめ がわかるように作成すること。
- ・「世界の諸民族の音楽」の教材研究を別紙とすること。
- ・作成したスライドは「配付資料」形式で印刷して紙媒体で提出すること。

②模擬授業

《課題と授業時間》

- ・「世界の諸民族の音楽」(中学音楽の教科書)を教材として、提出した「学習指導案」等（提出物C）を基に模擬授業を行う。教科書は持参して使用してよい。
- ・授業では、持参したパソコン等で、課題として作成・提出したパワーポイントを使用することも可。
- ・授業時間は、10分間。
- ・授業開始前に、作成した学習指導案の「本時」のどの部分を行うのかを口頭で示すこと。

《評価のポイント》 次の3点に基づき総合的に評価します。

- ① 音楽室の生徒40人全員に届く声量と明瞭さがあるか。
- ② 生徒に指導しようとしている内容が具体的でわかりやすいか。
- ③ 生徒の学習意欲を引き出そうとしているか。

③ピアノ弾き歌い

《演奏曲》

- ・「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」「夏の思い出」「花」「花の街」「浜辺の歌」の中から自身で選択した4曲を弾き歌いする。
- ・前奏から弾き始めて、繰り返しはせず1番のみで終結部へ。但し「花」は繰り返し記号を使用しない為、1番の弾き歌いに続けて間奏を弾き、2番に入らずに、最終小節（63小節目）に飛んで終わらせる。
- ・暗譜は不要です。

《評価のポイント》 次の5点を基にして総合的に判断します。

- ① 演奏途中の停止や弾き直すことなく最後まで演奏できたか。
- ② 適切なテンポで演奏できたか。
- ③ ペダルを効果的に使用できたか。
- ④ 歌声は教室の隅々まで届く声量であり、歌詞が明瞭だったか。
- ⑤ 生徒に「楽曲の感じ」を伝えようとして演奏していたか。

④課題レポート（提出物 D）

- ・課題： なぜ教職課程を履修するのか
- ・字数等： 1600字程度 ※指定用紙を使用（直筆のこと）

⑤面接

主に次の項目についてたずねます。

- ①志望動機（教員免許状の取得動機）
- ②教員免許状取得後、ただちに教員採用試験を受験する計画の有無。

●教育実習適性試験 申込について

受験資格: 本学出身者で、2024年度(2025年3月31日)までに本学で定める許可条件科目(P.1参照)を履修済である者。もしくは、本学で許可条件科目を今から履修する者(試験課題の一部免除あり)。

※2024年度の履修科目で申込期間中に修得の確認が出来ない状況の場合は、取得見込みでも受験を認める。ただし、申込後に単位修得が出来なかった場合は受験資格を取り消します。

申込期間: 2025年3月3日(月)～7日(金) 15:00まで

必要書類: 次の①、②を申込期間に提出すること

①「教育実習希望者対象 教育実習適性試験 申込書」

②修得科目のシラバス(他大学で修得した場合のみ)

※申込期間中に入手できない事情がある場合はご相談ください。

※申込後、提出物A～D(P.2参照)を提出すること(2025年3月21日(金) 15:00まで)。

締切厳守です。申込、課題提出等が期日までにできなかった場合は、受験資格を失いますので、十分に気を付けてください。

試験内容はP.3の記載のとおりです。【別紙】で受験に必要な項目を確認した上でお申込みください。試験の課題内容に関する個人的なお問合せにはお答えしかねます。試験の申込方法、受験資格、実施日時や方法等でご不明な点がございましたら担当者までお問合せください。

問合せ：大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部
学務事務部門 教務担当(教育実習係)
Tel：06-6334-2134

参考: 本学での科目名称等(2000～2023年度)

※同名称でも年度によって内容が異なります。詳細は学力に関する証明書で確認してください。

教育職員免許法施行規則第4条及び第5条に定められた「教科及び教職に関する科目」	本学での科目名称	各科目の単位数
各教科の指導法	音楽科指導法Ⅰ、音楽科指導法Ⅱ	2単位
教職の意義及び教員の役割・職務内容	教職入門	2単位
	教職入門A、教職入門B、教職入門	1単位
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論A、教育学概論	2単位
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育学概論B、教育学概論	2単位
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2単位
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法	生徒指導論A、生徒指導と教育相談	2単位
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論B、進路指導・キャリア教育	2単位